

自治体との連携こそ”密”に行う

保育園で起きていることは保育園職員が知っている → 保護者へ、地域へ、報道機関へ幅広く伝えるべき

この新型コロナウイルスについて正しい知識を得ることが基本となり、その上で、適切な対応を行っていくことが重要です。出来る限りの対策を行うことはもちろんですが、人的資源や物資の有無に依存して「やりたいけれども実施できない」ことも多いことと思います。

自治体の保育担当者との連絡・調整によって人的資源や物資不足の解消を目指すことが重要であり、そのためには、「保育園からの情報発信」が重要です。

【野口提言】

毎日のどれほど小さな変化でも記録（メモ）に残しておくこと。

最も大切な情報発信先としての保護者はもちろんのこと、行政担当者にもむけて正確な情報をこまめに届けていきましょう。

今起きていることを記録（メモ）する

保育園で起きていることは保育園職員が知っている → 保護者へ、地域へ、報道機関へ幅広く伝えるでき

私からの提言「記録（メモ）を取りましょう」というのは、保護者や自治体職員に向けた正しい情報の発信の材料です。

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大の前
- (2) 全国各地で感染が拡大していた頃
- (3) 同じ都道府県内（さらには市区町村）における感染が拡大していた頃
- (4) 緊急事態宣言時
- (5) 緊急事態宣言解除後

などのように時系列に変化の記録を保存・保管していき、それぞれの期間中には、何が起こり、保育職員はどのように考え、対応し、処理を行ったのか、そしてその後の予後良好だったのか、改善が必要だったのか、など、経験途中の今だからこそ記録を残しておきたいです。

はじめの頃は、ほんの数人でも恐怖心を覚えていたことや、一時期は東京だけで200人を超える新規感染者が発生していたことなど、その時にはその時なりの常識としてそのまま受け入れていた状況ですらあらためて今になって考えてみると不思議なことや疑問に感じることも多数あります。また、そう遠くない未来に想像以上の出来事が起こるかもしれません。

新型コロナウイルス感染拡大の防止にむけて

科学の特徴を理解すること、そして、最新の情報を得ながら考えること

今回、マスメディアやSNS上の個人（小さなメディア）による情報の波の激しさを感じています。

これまで、食と健康に関する情報のあり方や、食の安全・安心とメディアのあり方についても大学院で授業を行っている私としましては、今回の新型コロナウイルスに関する多くの情報の波こそが、人間に不安な気持ちや恐怖心をもたらし、巧みに集団心理を動かしているような雰囲気がとても気になっています。

新しい未知のウイルスとの戦いに対して、数十年にわたって国内外の最先端の研究施設や大学で研究活動をしてきた人の発言や提言を信じない人がいることに驚いているといったほうがわかりやすいかもしれませんね。私もひとりの研究者として情報発信する際には、言葉を選び、数的データの根拠を示し、確率論的に考えて可能な限りの助言をしているつもりです。

生物学や医学などの人間科学において100%の結論はなく、あくまでもの可能性を確率で表現しながら、自分よりも専門的知識や経験の少ない一般の方々に、どのようにわかりやすく的確に伝えていくべきか、を考えているのです。

柔軟に対応できる体と心を育む

科学の特徴を理解すること、そして、最新の情報を得ながら考えること

サイエンスの世界は、まだまだ人間が知らないことばかりです。

だから魅力的なのですが、今回の新型コロナウイルス感染症対策の報道などを拝見していると、科学者の発信よりもその何十倍もの「素人の感想」が報道されていることに違和感を感じます。

このことについて、私からひとつのお願いですが、保育関係者の皆様におかれましては、何十年も専門的な研究を国内外で実施してきた科学者の声にもっと耳を傾けていただきたいということです。

つい数ヶ月前の年末年始の頃にはウイルスという言葉など話すこともなかった「素人の感想」は聞き流しておきましょう。

【野口提言】

日本に必要なことは「科学コミュニケーション（サイエンス・コミュニケーション）」の醸成

感染症対策は科学で考え政治が判断をする

科学者の役割と、政治家の役割と、市民の役割

科学者は、「正しく怖がる」ために必要な科学の知識を市民に提供する（安全と危険の判断）。
しかし、科学は100%ではない。（確率論的思考）

政治家は、「安心して暮らす」ために必要な政治の決断を市民に提供する（安心と不安の判断）。
そして、政治決断は100%である。（法・規則・基準の明確化）

市民は、科学者と政治家を信頼しながら、一人ひとりが出来る対応を行う。
社会を動かしているのは、市民であり、最先端の実践の現場で悩みや苦悩を抱えることも多い。

だからこそ、私は、市民の声は大切なものと考えています。

同様に、保育園においても、主たる人物同士の共通理解のもと、役割の分担と明確化が重要だと思います。
（新型コロナ対策のみならず、日頃の保育園においても）

【野口提言】

保育専門家として、保育現場のコロナ対策の実践後の、結果・評価・感想・苦悩・憤りなどを、必ずまとめて発信すること！